



2018年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2017年10月30日



決算報告

取締役 佐伯 幸雄

2018年3月期 中間決算概況



7月26日と9月28日に業績予想を上方修正

中間決算は前期比増収増益

売上高	27% 増
経常利益	212% 増
中間純利益	200% 増

受注高は高水準で推移

業績概要 前期比



(百万円)

	2017年3月期 中間	2018年3月期 中間	増減額	2018年3月期 中間予想
売上高	60,241	76,431	16,189	76,000
売上原価	53,855	68,151	14,296	
売上総利益	6,386	8,279	1,893	
販管費	6,515	7,273	757	
営業利益	128	1,006	1,135	
営業外収益	521	71	449	
営業外費用	76	94	18	
経常利益	315	983	667	900
中間純利益	233	699	466	630
従業員数	959名	1,093名	134名	

中間純利益は親会社株主に帰属する中間純利益
東京エレクトロンデバイス

セグメント別 売上高・利益

	2017年3月期 中間		2018年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
半導体及び電子デバイス (EC)事業	52,852	126	68,468	15,615	691	564
コンピュータシステム関連 (CN)事業	7,389	188	7,963	573	291	103
合計	60,241	315	76,431	16,189	983	667

セグメント利益は経常利益

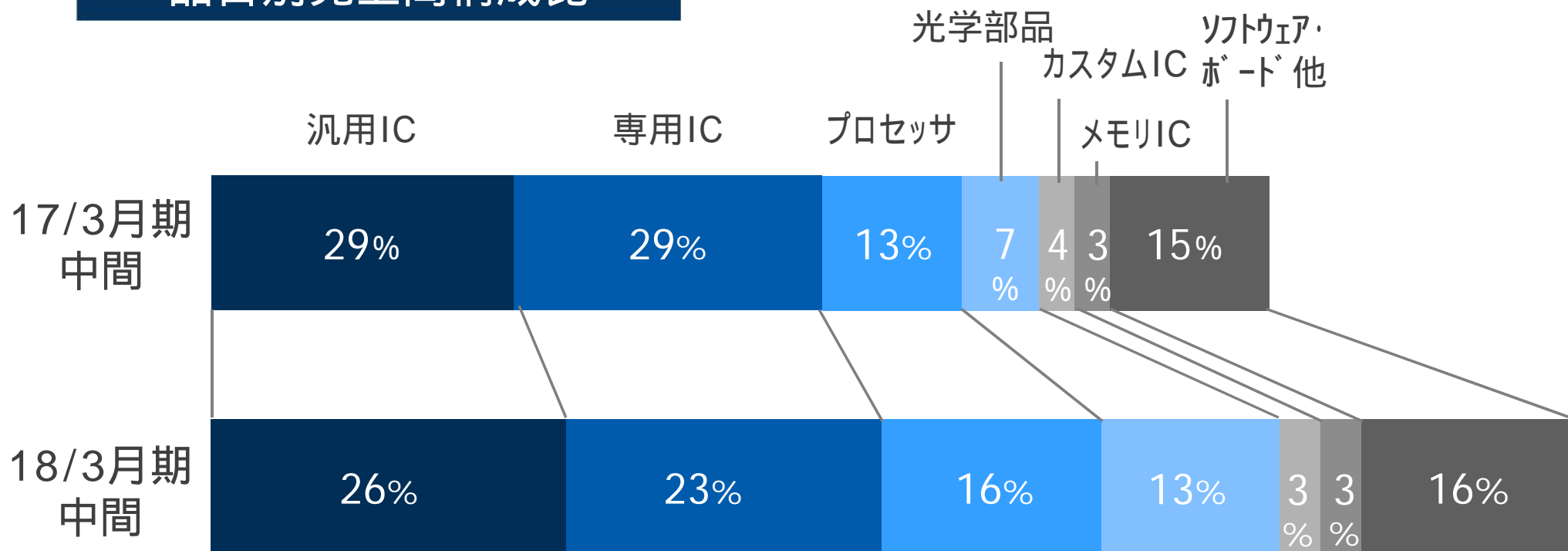
EC事業
CN事業

産業機器、車載機器好調、商権拡大も寄与
ネットワーク機器、フラッシュストレージの機器販売堅調

セグメント情報 EC事業

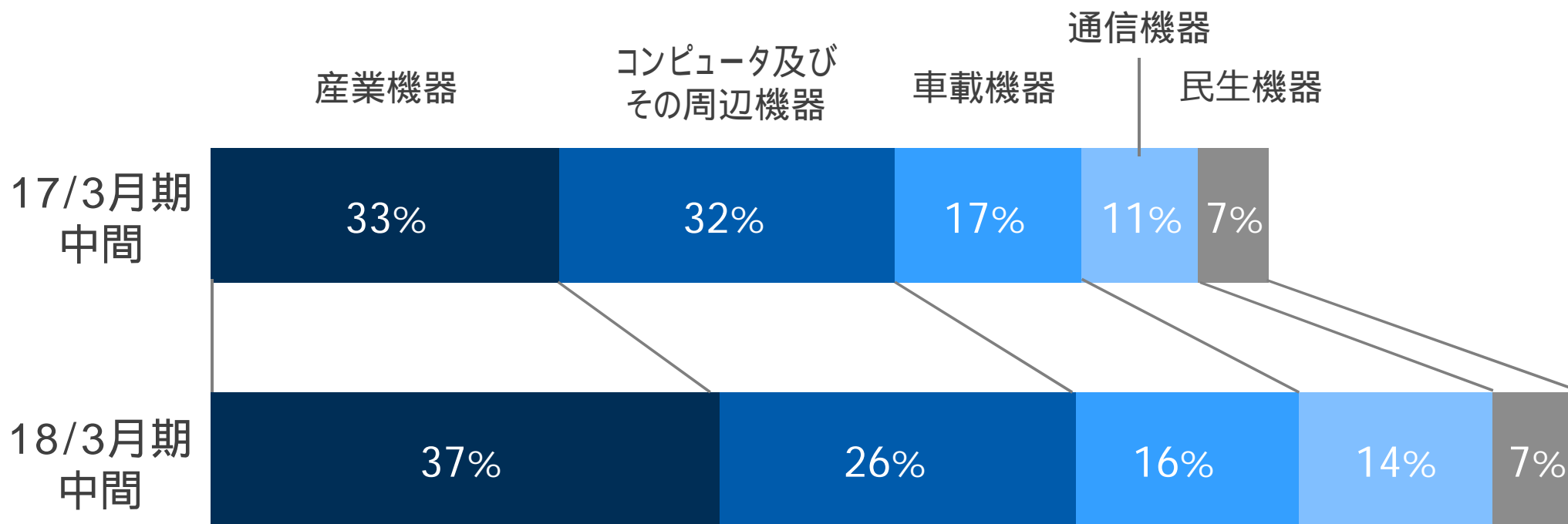


品目別売上高構成比



全品目で売上高増加

用途別売上高構成比



全分野で売上高増加

海外連結子会社 売上高 EC事業



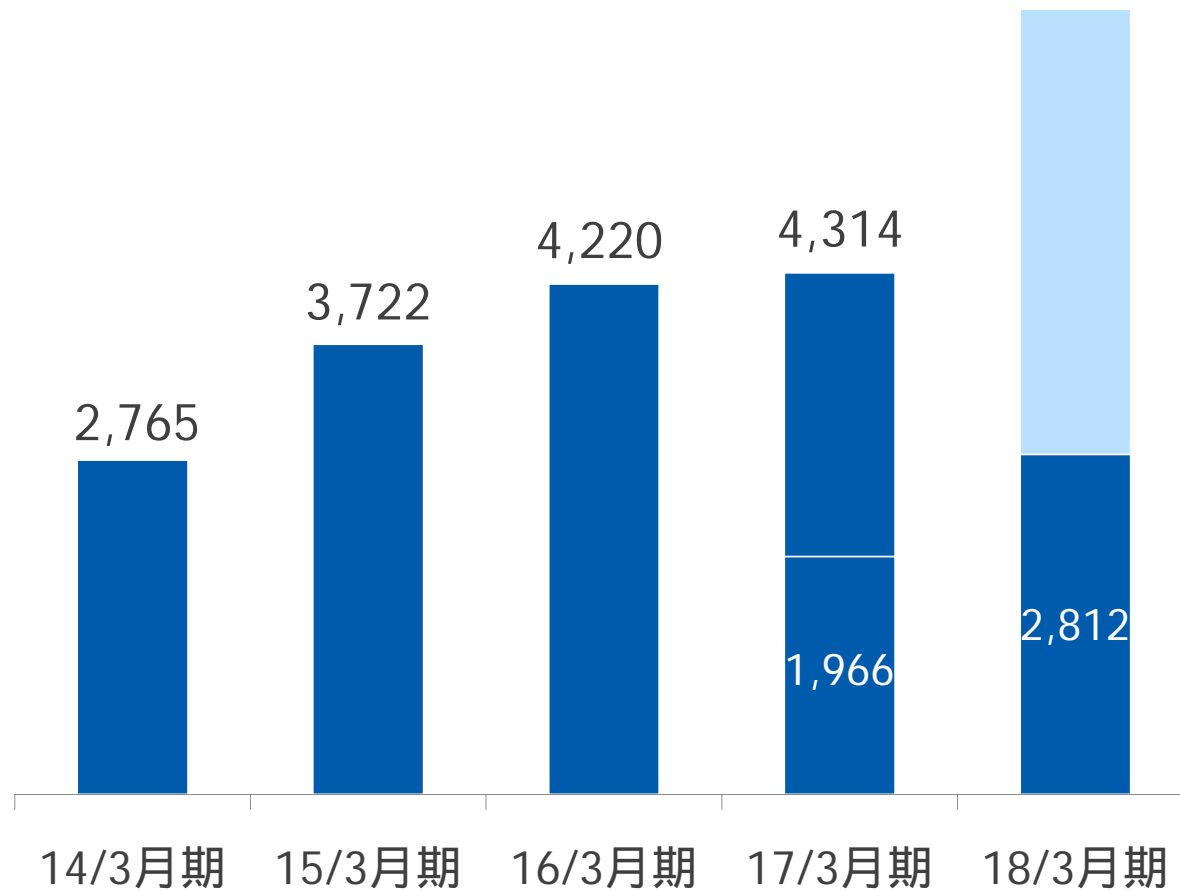
	2017年3月期 中間	2018年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	18,868	21,665	2,797	14.8%
海外連結子会社 売上高比率	35.7%	31.6%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	179	195	15	8.8%
為替レート(円)	105.20	111.04		

アジア日系企業向け好調

自社ブランド事業 売上高 EC事業



(百万円)



売上高 43%増

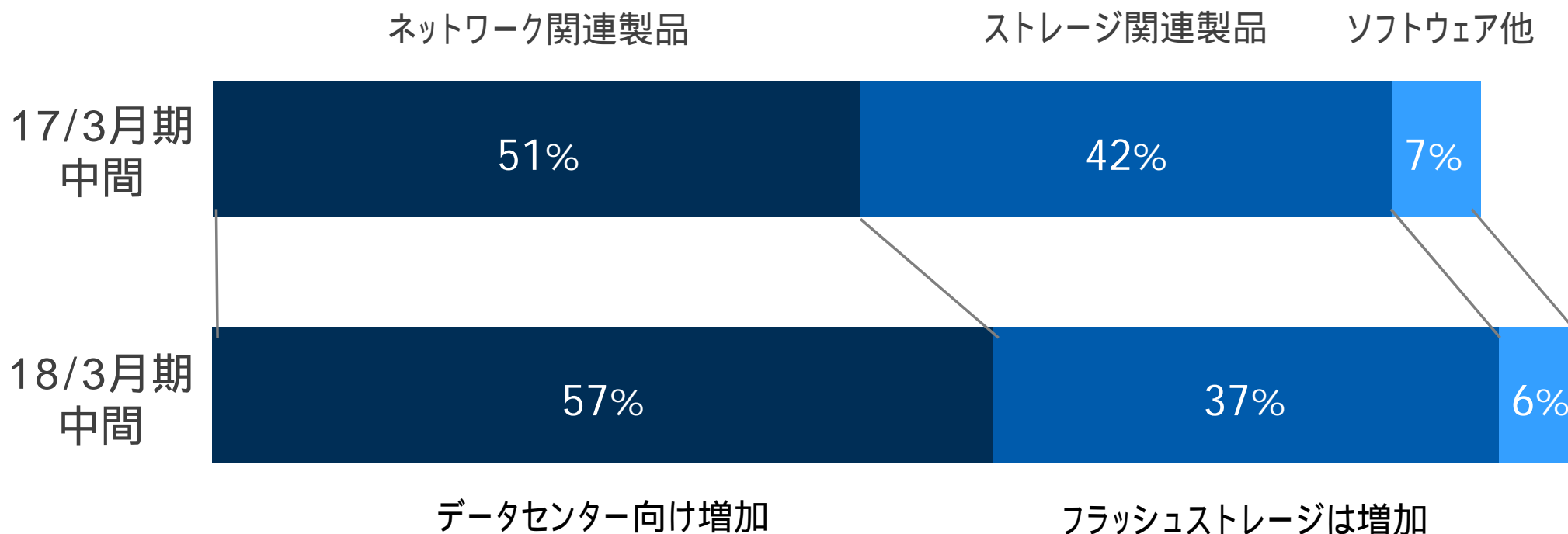
18/3月期より(株)アバール長崎が寄与
設計・量産受託サービスが伸長

自社ブランド事業 売上高は、
インレピウムと(株)アバール長崎で構成

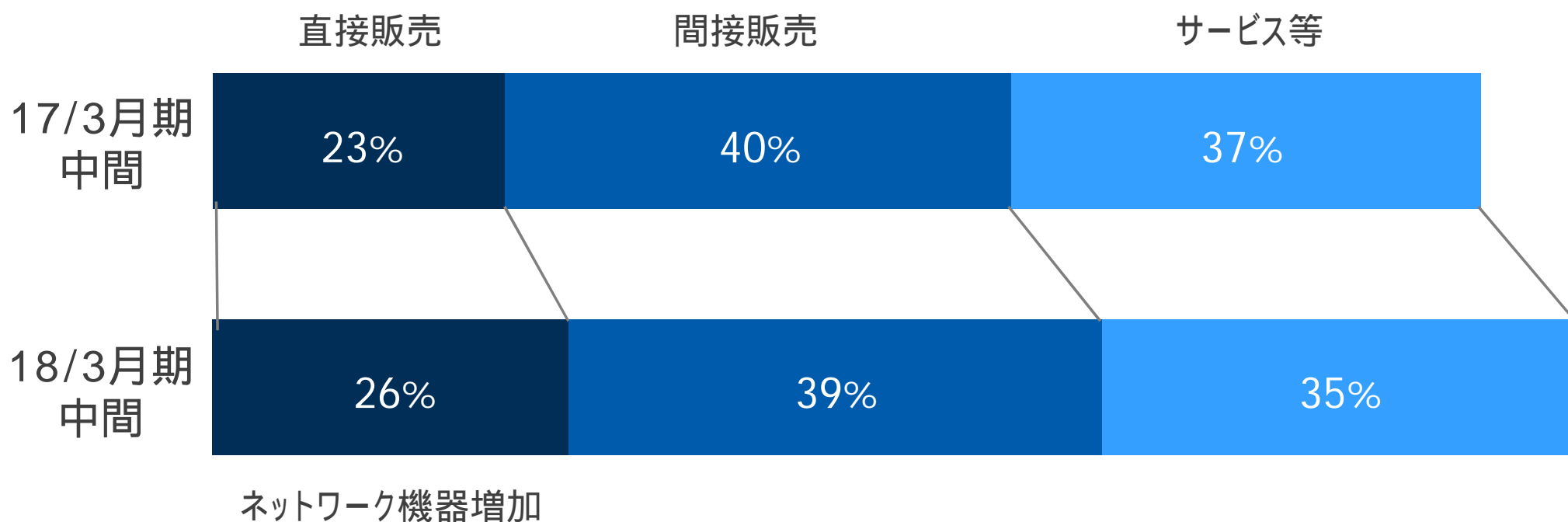
セグメント情報 CN事業



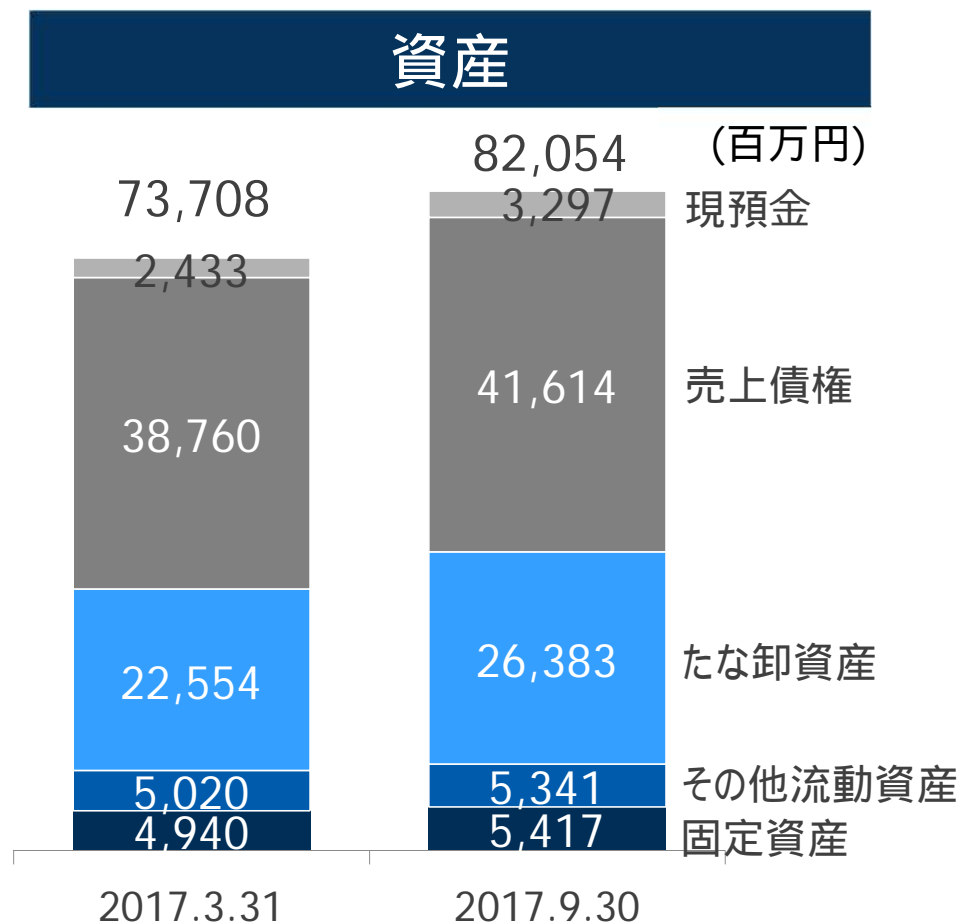
品目別売上高構成比



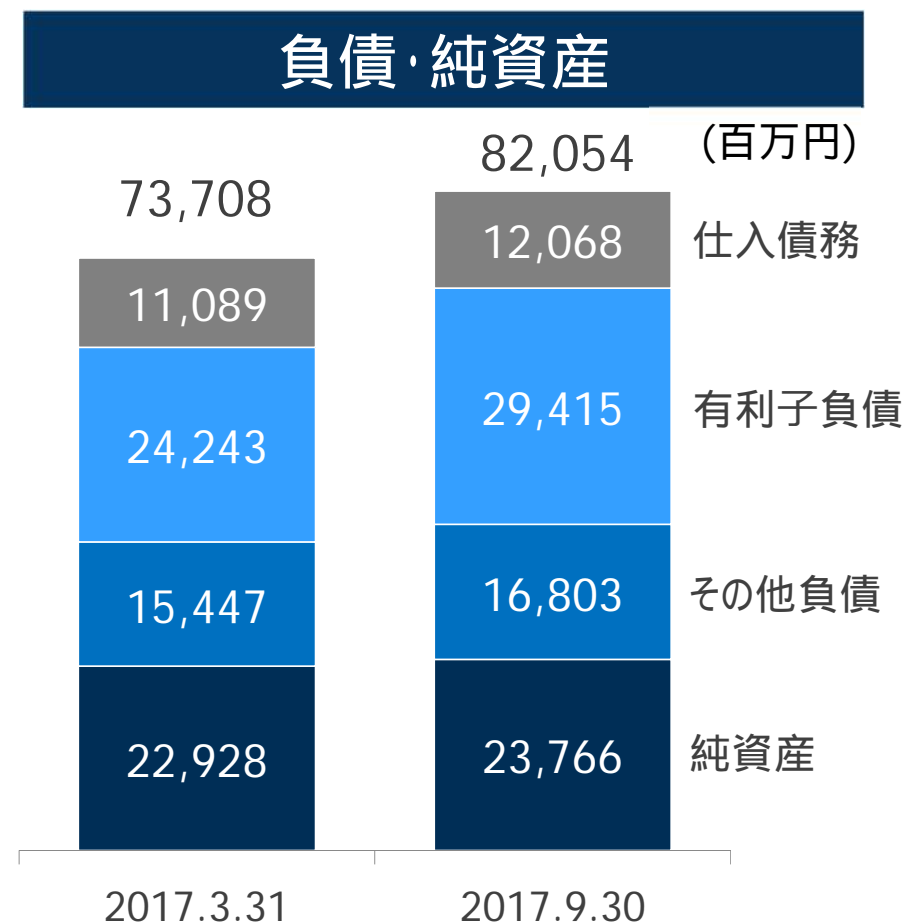
販売形態別売上高構成比



貸借対照表



売上増加により売上債権増加
在庫回転月数は2ヶ月を維持



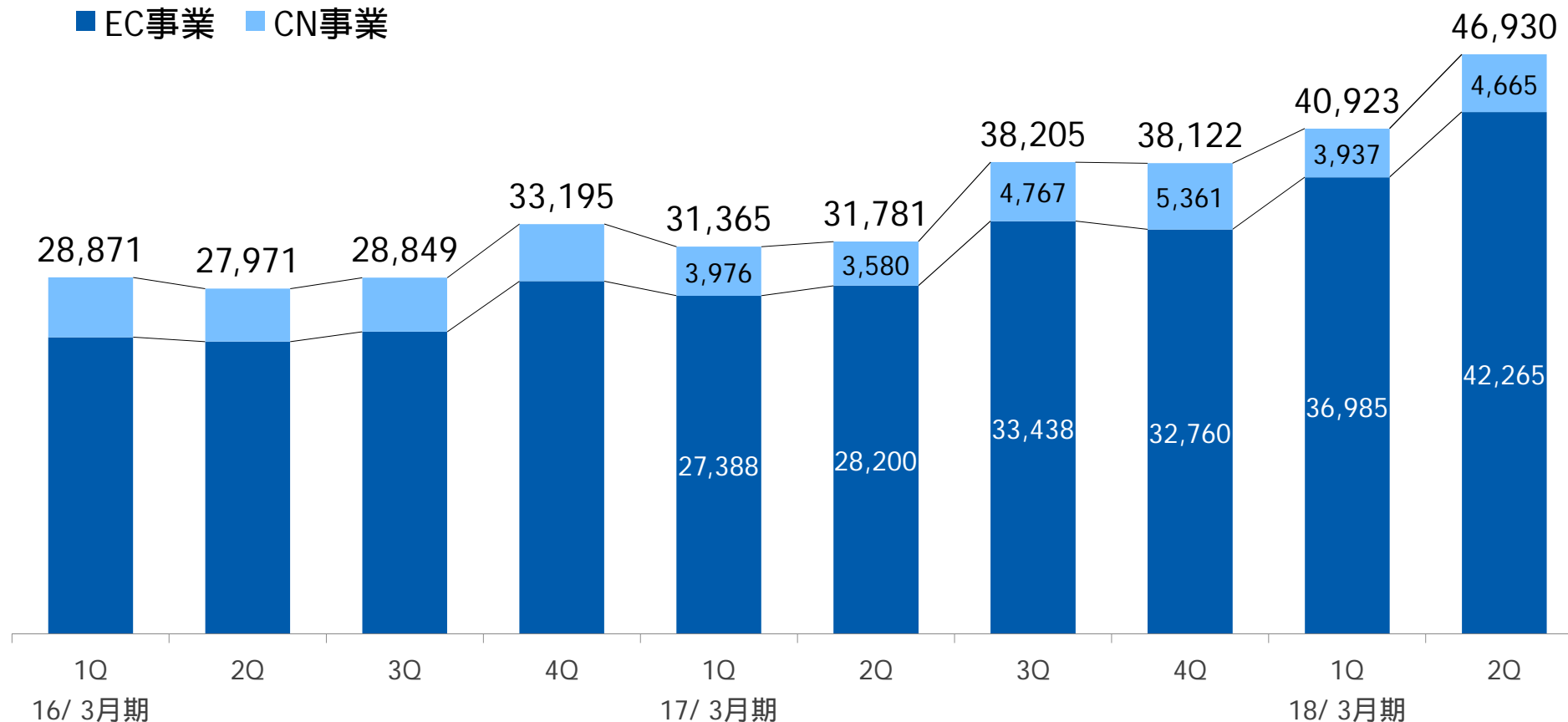
受注増加により仕入債務増加
運転資金を有利子負債で調達

受注高の推移



(百万円)

■ EC事業 ■ CN事業



18/3月期 2Qより(株)アバール長崎の受注高を含む



業績見込み 及び 事業環境

代表取締役社長 徳重 敦之

2018年3月期 業績見込み

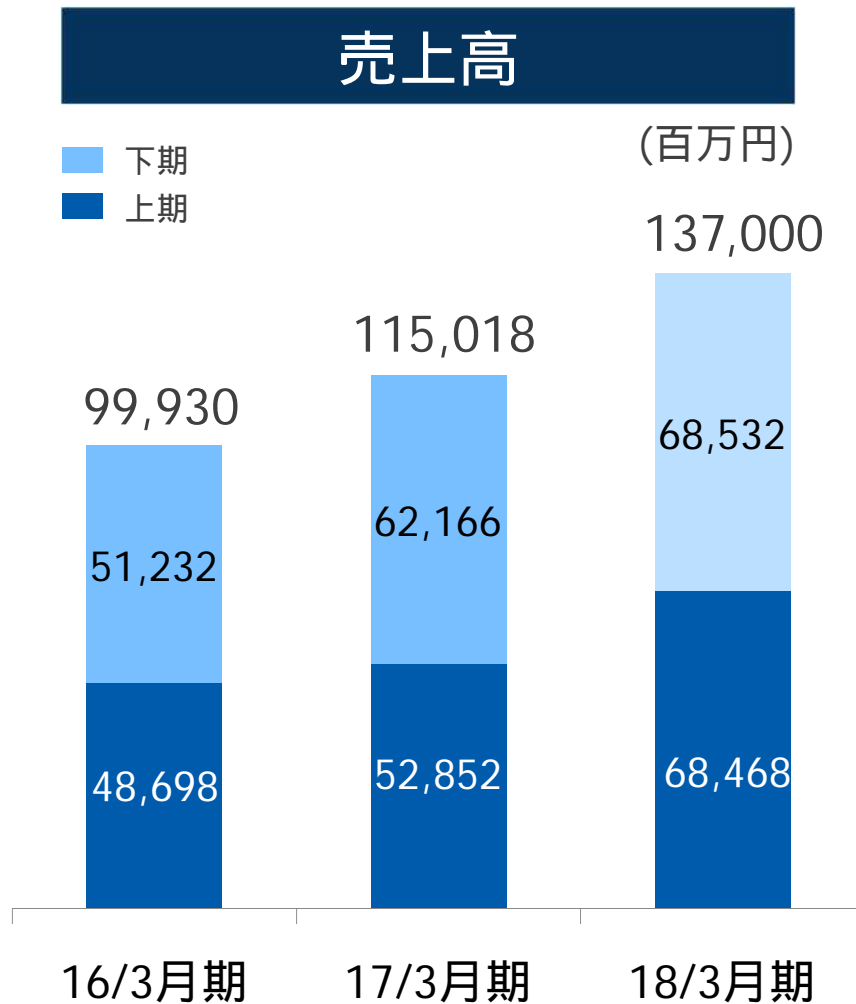


(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期			対前年比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	131,855	76,431	77,569	154,000	22,145	16.8%
EC事業	115,018	68,468	68,532	137,000	21,982	19.1%
CN事業	16,836	7,963	9,037	17,000	164	1.0%
経常利益 (利益率)	1,377 (1.0%)	983	1,017	2,000 (1.3%)	623	45.1%
当期純利益 (利益率)	972 (0.7%)	699	501	1,200 (0.8%)	228	23.4%

当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

EC事業 業績見込み 及び 事業環境



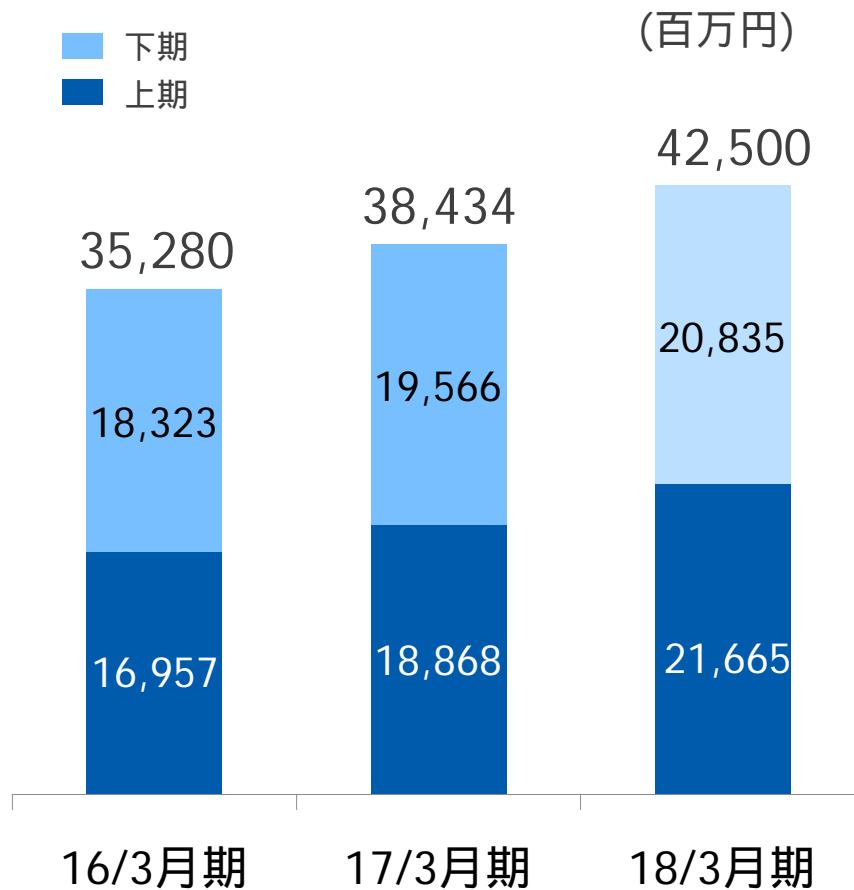
足元は全般的に好調

産業機器・車載機器は引き続き好調を想定

リードタイムの悪化による顧客の生産計画への影響を懸念

EC事業 業績見込み 及び 事業環境

海外連結子会社売上高



アジア日系企業向けは
好調維持を想定

環境・省エネ商材にも注力

EC事業 下期施策



収益性の改善

在庫圧縮

[自社ブランド事業]

設計・量産受託サービスの拡大

省人・省エネ製品の開発の継続

株式会社アバル長崎を連結子会社化



- 業績堅調 半導体製造装置向けが牽引
- 第2四半期からEC事業の業績に寄与
- 設計・量産受託サービスは自社生産体制へ移行

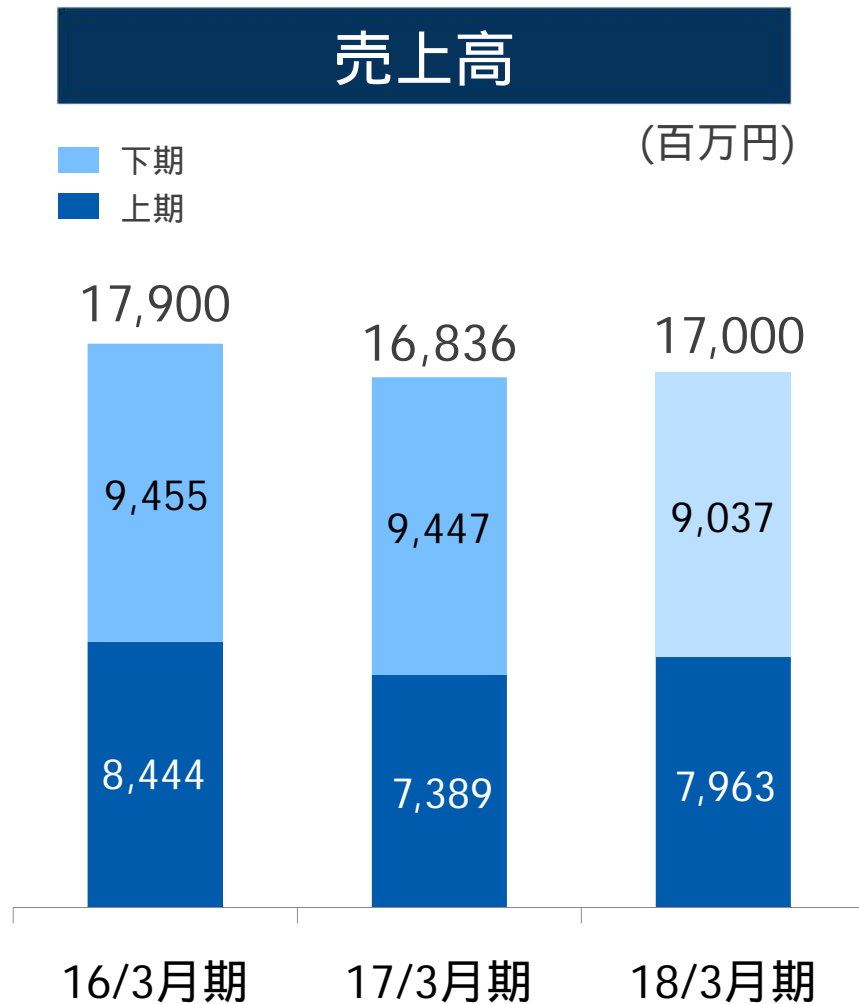
会社概要（2017年3月期）

所在地	長崎県諫早市
事業内容	電子機器の開発・設計・製造・販売
売上高	2,451百万円
当期純利益	154百万円
従業員数	126名

株式の状況

株式取得日	2017年7月1日
取得株式数	174,000 株
議決権所有割合	74.04%
取得価額	1,392 百万円

CN事業 業績見込み 及び 事業環境



セキュリティ市場の成長に期待

製品販売、保守ビジネス堅調を想定

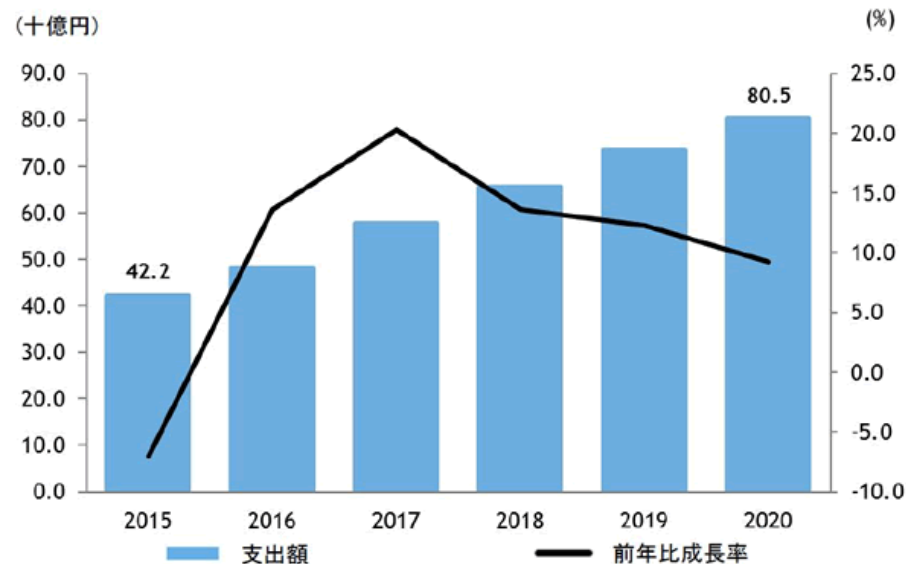
公共教育機関向けビジネスは端境期

CN事業 下期施策



顧客層の拡大
(直接販売の強化、EC事業顧客への販売展開)

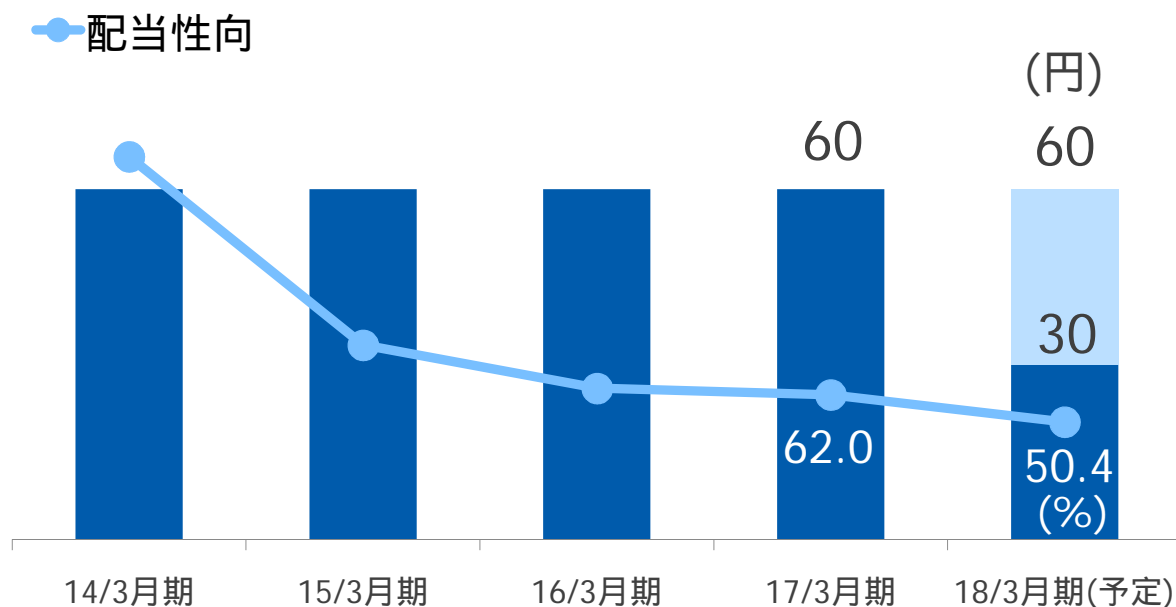
次期主力製品の立上げ
(セキュリティ製品、ハイパーコンバージドインフラ製品)



出展：
IDC Japanプレスリリース
「国内コンバージドシステム市場予測を発表」
(2016年12月6日)

1株当たり配当金

	2017年3月期	2018年3月期
中間	30円	30円
期末	30円	(予定) 30円



- 配当性向
目安50%以上
- DOE
下限2.5%

DOE(株主資本配当率) = 配当性向 × ROE



新規ビジネスへの取り組み

設計・量産受託サービス

商社機能、メーカー機能を駆使し顧客要求を実現

- 営業体制の強化
- 量産を見据えた設計受託案件の創出
- 株式会社アバール長崎で量産対応
- 設計から量産までワンストップで提供



FPGA搭載のSoM (System on Module)

設計・量産受託サービスの流れ



新規ビジネスへの取り組み



省人・省エネ製品

高速プロジェクタ **DYNAFLASH**

- 世界最大級のコンピュータグラフィックスの学会「シーグラフ2017」に出展
- 高速3次元形状測定デモシステムをエキスビジョン社と開発



シーグラフ2017でのDynaFlash展示ブース



高速3次元形状測定デモシステム
(シーテックジャパン2017のエキスビジョン社ブース)

超音波霧化分離装置

- 2017年6月よりナノミストテクノロジーズ社と共同開発を開始



濃縮装置



ラボ実験装置

TED REAL IoT

3事業一体で IoT に必要な製品・技術・サービスを提供

< IoT基盤製品 >

センサー・通信・ゲートウェイ
モジュール・開発キット



< クラウドサービス基盤 >

Microsoft Azure



< 開発支援サービス >

プロトタイプ
開発サービス

Min Lab



< 開発ツール >

ノンプログラミング
開発クラウド

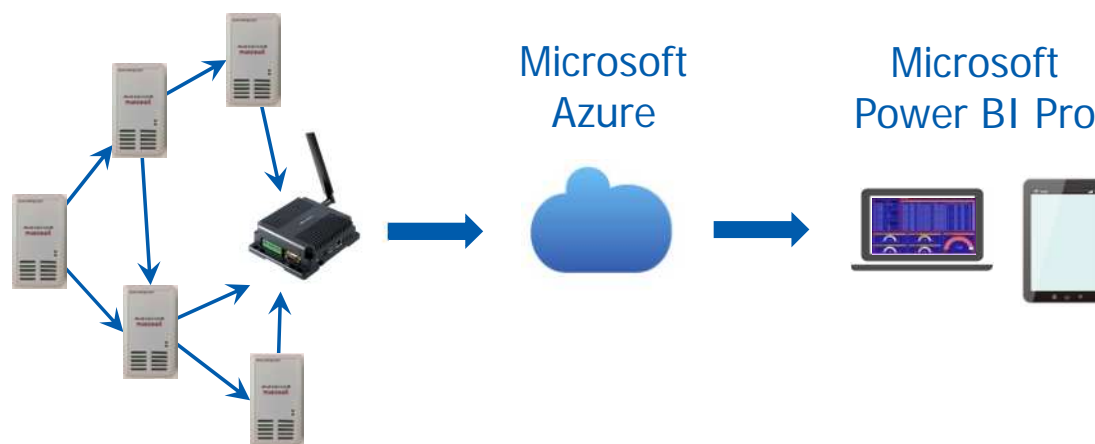
 **Connexon**



メッシュ無線を用いた温湿度センサー



- アナログ・デバイス社（Dust Networks®）の Smart Mesh IP製品を搭載した温湿度センサー
- 医薬品、食品などの製造工場、物流倉庫向け
- IoT向けにMicrosoft Azureとのパッケージでも提供





Connect Beyond

本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

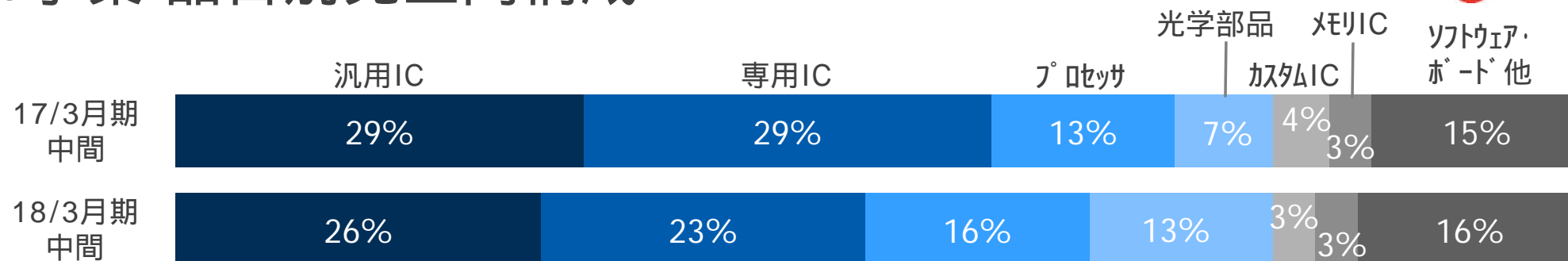
また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



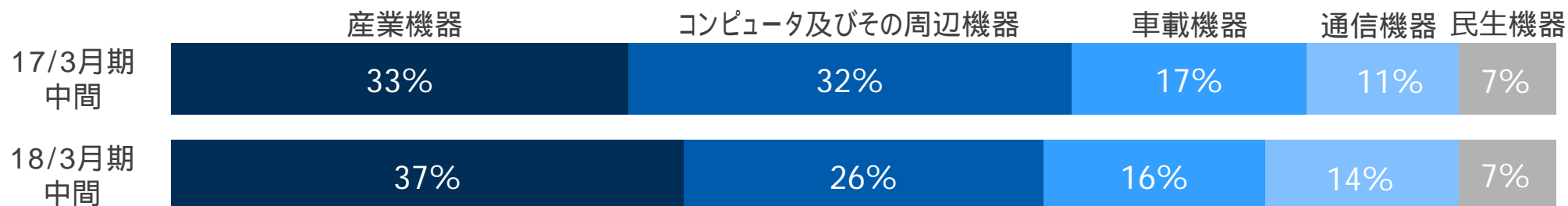
補足資料

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
汎用IC	16.5%	車載・産業機器増加（アナログIC）	TI / NXP(フリースケール) アナログ・デバイス (リニアテクノロジー)
専用IC	4.2%	スマートフォン プロジェクター 白物家電増加	TI / アナログ・デバイス / ブロードコム / ピクセルワークス / サイプレス / インビディアム
プロセッサ	62.3%	基地局 POS 車載増加	NXP(フリースケール) / インテル / TI / サイプレス(スパンション含む)
光学部品	132.4%	商権拡大 産業機器 スマートフォン 大幅増加	ブロードコム(アバゴ・テクノロジー)
カスタムIC	7.6%	産業機器増加	ソシオネクスト / ラティス / インビディアム
メモリIC	7.2%	商権拡大 産業機器増加	サイプレス(スパンション含む)
ソフトウェア・ボード他	34.7%	アバール長崎が寄与し増加	マイクロソフト / インテル / コーセル / インビディアム

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	45.9%	医療機器 放送機器 監視カメラ FA機器 計測器 工業用ネットワーク 工作機械 半導体製造装置 インバータ	FA機器、半導体製造装置など全般的に好調 商権拡大も寄与
コンピュータ及びその周辺機器	6.3%	複合プリンタ プロジェクタ OA機器 ストレージ PC及び付属機器 POS	プロジェクタ向け専用IC増加 POS向けプロセッサ増加
車載機器	19.3%	カーナビゲーション カーオーディオ ボディ系	アナログ IC プロセッサ増加
通信機器	66.1%	携帯電話 スマートフォン ルータ 伝送装置 基地局	商権拡大によりスマートフォン向け専用IC 光学部品大幅増加
民生機器	25.5%	デジタルカメラ デジタルビデオカメラ TV DVD AV機器 家庭用ゲーム リモコン 白物家電	白物家電向け専用IC増加

CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	21.2%	データセンター事業者、通信事業者向け 直接販売増加	アリストネットワークス社 エクストリームネットワークス社 F5ネットワークス社
ストレージ 関連製品	5.6%	フラッシュストレージ製品の販売好調も その他の製品販売低調	ブロードコムコミュニケーションズシステムズ社 DELL EMC社 (アイシロンデータメイン) ピュアストレージ社
ソフトウェア他	9.4%	データベースソフトウェア減少	オラクル社 ニュータニックス社

品目



	品目	主な製品	機能
EC事業	汎用IC	アナログIC ロジックIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	専用IC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC	特定用途向けに作られた専用IC
	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	光学部品	LED フォトカプラ	電気を光に変換して使用する電子部品
	カスタムIC	ASIC PLD	お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ソフトウェア・ボード 他	ソフトウェア ボード 電源 コネクタ	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 セキュリティ関連機器	インターネットの接続負荷の分散、 ネットワーク上のセキュリティを強化
	ストレージ関連製品	SANスイッチ フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	ソフトウェア他	組み込みデータベース ハイパーコンバージドインフラ	データベース管理、クラウド環境の管理